# 第2章 茨木市の景観特性

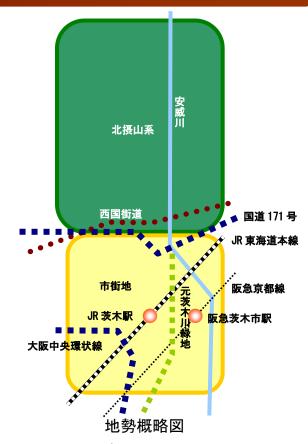
# 1. 茨木市の景観特性の分類

# (1) 茨木市の地勢

茨木市は、南北に長く、北部は北摂山系、 南部には大阪平野の一部をなす三島平野が広 がっています。その起伏の中を南北に安威川 が流れています。

北部の北摂山系では、竜王山をはじめとした山林の中に棚田と農村集落が見られます。 また、丘陵地では彩都やサニータウン等計画 的に整備された良好な住宅地が形成されています。

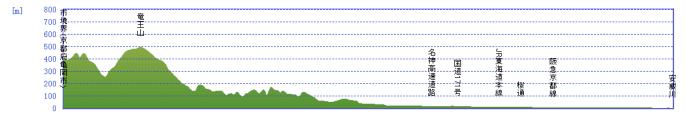
南部の平野部には、旧農村集落を起源とする住宅地や、土地区画整理事業等により計画的に整備された住宅地が広がっており、その中をJR東海道本線や阪急京都線等の鉄道、国道 171 号や大阪中央環状線等の広域幹線道路が通っています。それらの道路沿道では、北大阪流通センター等、交通利便性を活かし



た流通・業務地が形成され、産業流通都市としての顔も見ることができます。

JR 茨木駅や阪急茨木市駅周辺は、古くから茨木市の社会的、経済的中心となっていました。 1970年(昭和45年)の日本万国博覧会にあわせて、JR 茨木駅の橋上駅舎への建て替えや、 両駅前のバスターミナルの整備、市街地改造ビルの建設、両駅間をつなぐ都市計画道路(以下、 (都)と表記する。)茨木駅前線の整備等が行われ、茨木市の玄関口としてシンボル的な景観が 形成されています。

また、元茨木川緑地は市街地の中心を南北に貫く緑地であり、桜の名所として、茨木市のシンボルとして、多くの人に親しまれています。



茨木市の地形断面図

# (2) 茨木市の歴史

茨木市は、日本でも有数の古墳群地帯で、古墳時代の初期から末期までの各時代の古墳が残っています。

古代より京都と西国を結ぶ重要路として西国街道の往来が盛んであり、また、江戸時代には参勤交代にも利用され、「椿の本陣」等の宿場町が賑わいをみせるなど、古くから交通の要衝として栄えてきました。

中世に築かれた茨木城周辺の町は、城下町として賑わった時期もあり、商工業者が集積していました。

江戸時代に入り、一国一城令により茨木城は廃城となりましたが、茨木村は、多くの酒造家が軒を連ね、在郷町として、近辺の村々の社会的、経済的中心となっていました。

明治時代に入ると、鉄道が運行され、明治9年に現在のJR 茨木駅が、工部省により開設され、また、昭和3年には、現在の阪急茨木市駅である新京阪電鉄茨木町駅が開設されました。

戦後は、城下町の流れをくむ元町・本町付近に、商店が集積するとともに、豊かな自然環境 や交通の利便性を背景に、住宅地、商業地、工業地が発展してきました。

このような、過去から現在に至る人々の営みが、今日における茨木市の景観形成の背景となっています。

# (3) 茨木市の景観要素

前述のように茨木市は、「南部に広がる三島平野から、緑豊かな北摂山系、その間に広がる丘陵地等、変化に富んだ多様な地形に恵まれていること」、「歴史的な流れの中で、地域それぞれ特徴のある住宅地を形成していること」、「古くからの交通の要衝として、鉄道・道路等が発達してきたこと」で、商業地や沿道市街地が発展したほか、流通工業地域としての顔も有するなど、多様で多彩な景観特性を有しています。

このように多様な景観特性を持っていることが、茨木の特徴であり、茨木らしさであると考えます。

そこで、茨木市の景観特性を把握するため、茨木市の景観を以下の4つの要素によって分類 します。

#### 茨木市の景観要素

#### ①自然景観

● 北摂山系の森林、棚田や集落、田園、河川 等

#### ②市街地景観

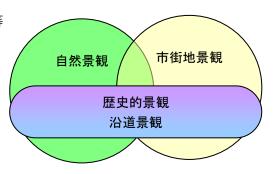
● 住宅地、商業地、工業地 等

#### ③歴史的景観

● 西国街道、亀岡街道 等

# 4沿道景観

● 国道 171 号、大阪中央環状線等の広域幹線道路沿道



# 2. 景観要素別の特性と課題

# (1)自然景観

#### <特性>

- 北部の北摂山系は竜王山等の緑豊かな山林や公園があり、良好な山の緑が広がっています。
- 北摂山系は、彩都等の住宅地の背後を取り囲む良好な山林景観として保全されているほか、市街地からも尾根の連なりを仰ぎみることができ、市民にうるおいや安らぎを与えています。
- 北部では、山林の緑と一体となった美しい棚田や落ち着いた集落景観が見られるとともに、歴史的な遺産でもある権内水路等が残されており、現在も農業用水として利用されています。
- 穂積・郡山丘陵は、市街地に隣接したうるおい豊かな丘陵地となっています。
- 国道 171 号北側には、北摂山系を背景にした田園が広がっており、市域南部は、 住宅地に近接して田園が残っています。
- 安威川、勝尾寺川等では、河川敷が整備されているところもあり、川の流れに沿って開放的な空間が広がっています。

#### <課題>

- 集落における人口減少、高齢化により、山林や農地の維持が課題となってきており、 担い手の育成が必要となっています。
- 農用地区域が指定されていない幹線道路沿道の農地については、今後、転用による 沿道サービス施設等の土地利用の可能性があります。
- 田園景観の中に大きな屋外広告物や倉庫が見られるとともに、道路沿道については 資材置場等が見うけられるところもあります。
- ◆ 大規模な土地の形質の変更等については、周辺の景観に配慮した整備が必要となっています。



竜王山



棚田の稲かけ(車作)



権内水路



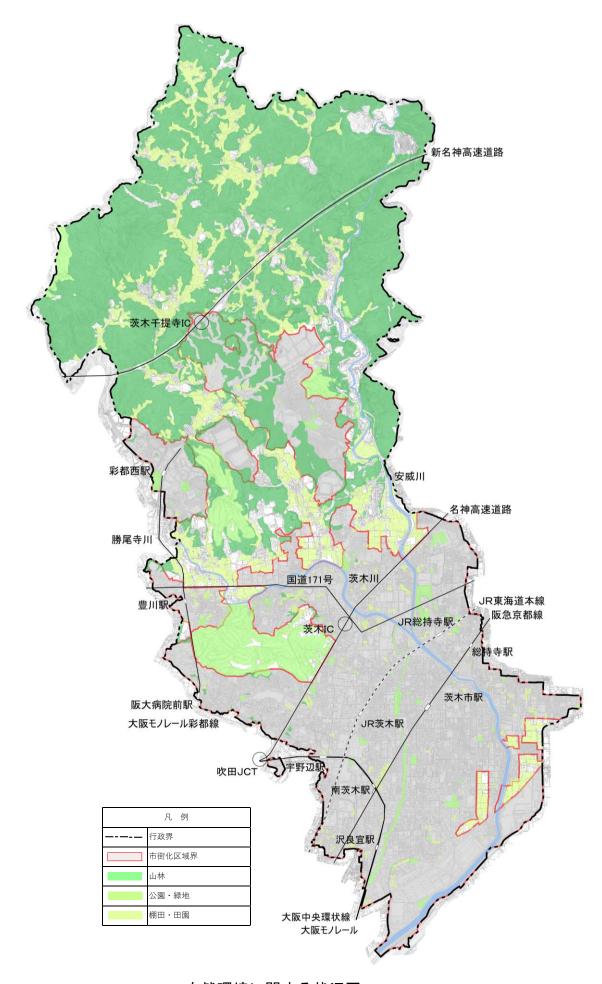
国道 171 号沿いの田園景観



安威川



茨木川からの眺望



自然環境に関する状況図

# (2) 市街地景観

# 1) 住宅地

#### <特性>

- 良好な景観形成を進めるため、市街地の特性に応じた建築物の高さを抑制する高度 地区を指定しています。
- サニータウンや春日丘地区、新大池地区等は、地域の特性に合わせ土地の区画の大 きさや建築物の高さ、かき柵の構造等について、きめ細かな制限を定める地区計画 や建築協定によって良好な戸建て住宅地が形成されています。
- 彩都、サニータウン等の丘陵地にある住宅地からは、南部平野部への眺望が開けて います。
- 南茨木駅周辺等における高層住宅地では、歩道沿いや敷地内が緑化され、良好な景 観が形成されています。
- 社寺等の歴史的資源が市内に点在しており、旧街道沿いには、スギ板塀やうだつの ある歴史的なまちなみが残っています。
- 市内には、若園公園、西河原公園、耳原公園等、大規模な公園があり、多くの市民 に利用されています。

#### <課題>

- 平野部に広がる旧農村集落から発展した住宅地は、新旧の住宅が混在しているとこ ろも見られます。
- 動力の存宅地では、相続等により敷地の細分化が起きているところもあります。
- 低層住宅地に隣接して、高層マンションが建設されているところもあり、住環境へ の配慮が課題となっています。

#### くシンボル的な住宅地景観>

- 彩都は、道路沿道や住宅地、研究開発施設等が一体となり、周辺の自然環境と調和 した、美しく個性的なまちなみを形成しています。また、歩道と沿道の宅地が一体 となった「庭園街路景観」が形成されています。
- 元茨木川緑地は、市街地を南北に縦断し、都心部にうるおいを与える空間として市 民に親しまれています。



\_\_\_ サニータウン



彩都



春日丘地区



若園公園



中高層のマンション



元茨木川緑地

#### 2) 商業地

#### く特性>

- 中心市街地の駅周辺では、商業施設とマンションの複合ビルが立地しており、阪急 茨木市駅では、駅と一体化した商業施設が立地しています。
- 阪急本通商店街や茨木心斎橋商店街等、JR 茨木駅と阪急茨木市駅の間には古くから商店街が広がっています。
- 阪急茨木市駅西側から元茨木川緑地までの商業地には、今も数多くの町家が残って おり、かつて在郷町として栄えた歴史を今に伝えています。

# <課題>

- JR 茨木駅、阪急茨木市駅や市役所、茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」等の公共施設と、これらをつなぐ中央通りや東西通りでは、行政サービス、商業・業務地が集積しており、引き続き、茨木市らしい良好な景観を形成していくことが求められています。
- 茨木市の玄関口である JR 茨木駅周辺や、阪急茨木市駅周辺では、建築物や屋外広告物の高さや色彩がさまざまで、まとまりのない景観となっているところも見られます。
- 鉄道駅周辺には商業地が拡がっていますが、店舗の間に共同住宅が建設されるなど、 まちなみの連続性に欠けるところも見られます。

#### <シンボル的な商業地景観>

- 茨木市の玄関口である JR 茨木駅、阪急茨木市駅周辺は、人々が集う賑わいある景観が形成されています。
- ●中央通りは、電線類の地中化や街路灯等の色彩の統一、街路樹の整備が進んでおり、 良好な景観が形成されています。また、市役所周辺は、茨木市文化・子育て複合施 設「おにクル」等の公共施設が集積したシビックゾーンが形成されています。



J R茨木駅周辺



阪急茨木市駅周辺



中央通り



茨木心斎橋商店街



在郷町の町家

# 3) 工業地

# <特性>

- 名神高速道路茨木インターチェンジ周辺や、国道 171 号の沿道、大阪中央環状線の沿道における工業・流通 施設の集積地では、ゆとりのある敷地が確保され、ま とまりのある景観が形成されています。
- 動地内の緑化等により、うるおいが感じられる景観となっています。

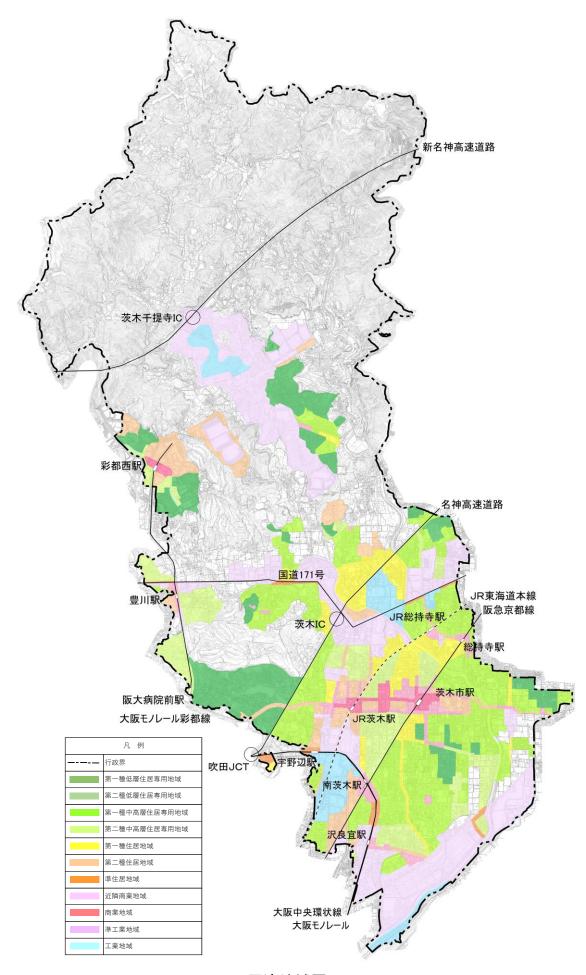


# <課題>

- 工業系用途地域において、住宅等の他の用途が混在してきているところがあり、工場の操業環境への影響が懸念されます。
- ◆ 大規模工場等が移転した跡地の土地利用にあたっては、 地域特性にあった新しい景観の形成が求められています。



工業•流通施設



用途地域図

# (3) 歴史的景観

#### く特性>

- 西国街道では、街道としての趣のあるまちなみが残っており、道路の石畳化やカラー舗装によって、歴史的な景観と調和した整備を進めています。亀岡街道沿いには、スギ板塀等、街道としての趣のあるまちなみが残っています。
- 阪急茨木市駅西側から元茨木川緑地の間に残る町家は、かつて在郷町として栄えた 歴史を今に伝えています。
- 社寺等の歴史的資源が市内に点在しており、その周辺地区には、歴史の趣が感じられるまちなみが見られます。また、JR のガード下には"丸また"と呼ばれるレンガ造りの構造物が見られ、特色ある景観を生み出しています。

#### <課題>

● 旧街道沿道では、歴史的なまちなみ景観が残っているところもありますが、伝統様式とは異なる、新しい形態・意匠の建築物に建替えられ、旧街道としてまとまりある景観が失われつつあります。

# <シンボル的な歴史的景観>

● 椿の本陣周辺は、旧宿場町としての趣のあるたたずまいが残っており、歴史的景観 と調和した整備を進めています。



椿の本陣(西国街道)



亀岡街道



スギ板塀が残るまちなみ



在郷町の町家



総持寺周辺のまちなみ



丸また

# (4)沿道景観

# <特性>

- 国道 171 号からは、北摂山系や北摂山系を遠景とした田園景観等、良好な自然景観を望むことができます。
- けやき並木等の美しい街路樹が整備され、沿道の建築物とともに、うるおいと趣の ある景観となっているところがあります。

#### <課題>

- 主要幹線道路の沿道では、周辺の環境に調和しない過剰な屋外広告物も見られます。
- ●中心市街地等の幹線道路沿道では、歩行者が楽しめる沿道景観を形成していくことが必要となっています。

# <シンボル的な沿道景観>

▼エキスポロード、府道茨木摂津線((都)道祖本摂津北線)では、街路樹が整備され、沿道の建築物とともに美しい景観が創出されています。



国道 171 号からの北摂山系への眺め



エキスポロード